

1. 科目名 (単位数)	音楽 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1140
2. 授業担当教員	杉原 由利子		
4. 授業形態	演習, 講義, 実技	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	保育の現場や小学校教育において必要とされる、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得することを目指す。具体的には、小学校共通教材 (保育現場との共通曲) を中心とした弾き歌い、器楽アンサンブル、音楽づくりを学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や器楽アンサンブルに関心を持ち、演奏ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 基礎的な音楽理論の理解ができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピアノ実技：授業終了時に次週の課題を提示するので必ず譜読みと練習をして臨んで下さい。 2. 音楽理論：コードネーム学習に関して課題を提示することがあります。 3. 第6回、10回に、音楽理論の小テストを実施、最終15回目に予め提出された映像データ (歌唱を無伴奏で録画したもの) を授業で共有します。 4. 小テストの事前課題として、無伴奏で歌唱した映像データの提出を14回授業後に求めます。 5. 歌唱教材：1曲でも多くのレパートリーを持てるよう譜読みを素早く正確にできるように練習し、「歌うこと」に積極的な姿勢で臨んで下さい。 6. 15回の授業が終了した際「バイエルであれば大よそ50番台まで弾きこなせること」、「両手を使つての弾き歌いができる (右手=旋律、左手=コードまたは伴奏) こと」を最低限の目標と致します。なお、完全な対面授業実施不可能な状況が継続する場合、一部のシラバスを改定する場合があります (その場合は予め周知いたします) 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>杉原由利子・赤塚太郎『新しい音楽のおさらい』共同音楽出版社 岡村弘・二宮紀子・杉原由利子『これだけは歌って弾こう子どもの歌 厳選50曲』共同音楽出版社。 印刷楽譜や資料を適宜使用。</p> <p>『指づかいつきバイエルピアノ教本』または『標準バイエル・ピアノ教則本』ともに(株)全音楽譜出版社※いづれを選択しても可。ピアノ初学者は指づかいつきが便利です(中古、譲られた教則本の使用、またウェブサイトダウンロードした楽譜も可) 配布楽譜をきちんと管理する為にA4クリアファイルブックを用意して下さい。</p> <p>【参考書】川辺 真著『わかりやすい楽典』音楽之友社。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 基礎的な音楽理論を理解し、説明できるか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の40% 2. 実技発表 総合点の40% 3. 音楽理論の理解 総合点の20% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>「ピアノが弾けるようになる」ためにはすなわち技術の習得が必須です。日々の鍛錬を忘れずに積み重ね、努力すると必ず弾けるようになります。自分を信じてひたむきに取り組んでください。気持ちよく授業を進める為または素晴らしい保育者としても絶対に必要なこととして、学生の皆様すべてにきちんとした挨拶をして頂くよう求めます。声を出し、視線を合わせて挨拶をすることを必ず行いましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ、素晴らしいさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。この授業では欲張ってたくさんの方に取り組みます。事前の譜読みや練習なしに授業に臨んでも、有意義な時間が過ごせません。熱心に、楽しく取り組んで下さい。授業冒頭にわらべ歌の学習を実践します。</p>		
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示いたします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要)、音楽経験・演奏レベル、音楽理論復習を兼ねるアンケート調査と回答合わせ 新しい音楽のおさらいの中の関連の内容紹介	事前学習	鍵盤でドの位置を確認し既習の基礎的な音楽に関して復習しておく。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第2回	・ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌 厳選50曲」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論①概要の解説と学習の振り返り ・わらべ歌の実践とソルミゼーション	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第3回	・ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌 厳選50曲」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論②音階と調性の概説。 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第4回	・ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌 厳選50曲」を	事前学習	第一回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。

	<ul style="list-style-type: none"> 用いた弾き歌い練習の導入 音楽理論—③長音階と長調。特にこどもの歌に頻出の4つの調性に関して（ハ、ヘ、ト、ニ長調） わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌 厳選50曲」を用いた弾き歌い練習の導入 音楽理論—④短音階と短調 わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第一回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音した音源データを、教員に添付ファイルにしてメール送信する。
第6回	第1回小テスト— 指定された楽曲の歌唱（無伴奏）のテスト	事前学習	第一回目の小テストに向けた無伴奏での歌唱練習をする
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて無伴奏歌唱を復習する
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 リズムエクササイズ 弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 音楽理論—⑤和音の機能に関する概説。日本の子どもの歌で良く使用されるコードに関する実践的解説 わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえてピアノの練習に取り組む。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 リズムエクササイズ 弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 音楽理論—⑥拍子とリズム わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第二回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえてピアノの練習に取り組む。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 リズムエクササイズ 弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 音楽理論—⑥楽語に関して わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第二回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音した映像データを、教員に添付ファイルにしてメール送信する。
第10回	第2回小テスト 弾き歌いのテスト	事前学習	第二回目の小テストに向け楽典を確認する。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて楽典を確認する。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 リズムエクササイズ コードチャートエクササイズ 弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 音楽理論—⑦移調と転調 わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音して、教員に添付ファイルにしてメール送信する。第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 リズムエクササイズ コードチャートエクササイズ 弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 音楽理論—⑧借用和音に関して わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音して、教員に添付ファイルにしてメール送信する。第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 リズムエクササイズ コードチャートエクササイズ 弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 音楽理論—⑨音楽理論に関する学習内容のまとめ1 わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ピアノ実技 リズムエクササイズ コードチャートエクササイズ 弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 音楽理論—⑩音楽理論に関する学習内容のまとめ2 わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	次週の小テストの楽曲を無伴奏で歌唱した映像データを、教員にline貼り付けまたは、添付ファイルにしてメール送信する。
第15回	第3回小テスト—リズム、ハンドサイン付きの無伴奏の歌唱 ※授業評価実施	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて歌唱練習に取り組む。